

# 施策評価表

1次評価日（課長等） 26年 9月 30日

2次評価日（部長等） 26年 10月 1日

## 1 施策の概要

施策名	まちの活力を高める市街地整備	コード	13-2
この施策の主な内容（細施策）	①中心市街地への都市機能の誘導、集積、②湖畔地区の整備、③良好な市街地の形成		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	都市機能を充実し、まちの活力を高めるために、市街地整備や都市基盤整備を行う。		
担当部課	部 建設水道部	課等 都市計画課	作成者 宮沢 健雄

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① まちの活力を高める市街地整備に対する市民の満足度	%	9.5	8.2	26.0	9.0	34.6%	-	-
指標説明	まちの活力を高める市街地整備を促進し、市民アンケートにおける満足度を上げる。 26年度以降の目標数値については、第4次総合計画後期計画より施策指標を変更したため数値なし。							
②						#DIV/0!		
指標説明								
③						#DIV/0!		
指標説明								

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	96	3,121	9,517	15,200
人件費	3,600	8,000	17,250	15,200
合計コスト	3,696	11,121	26,767	30,400

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

岡谷駅南周辺地区の活性化に向け、民間活力による定住拠点、生活拠点の創出を図るため、社会福祉法人への売却による土地活用が動き出したが、総体的にはまちの活力を高める展開には至っていない。湖畔若宮地区では、地区の協力、了解が得られた区画道路の築造に着手することができ、地区内の面的整備に向けて一歩踏み出すことができた。

\*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	中心市街地（岡谷駅周辺、中央町、市役所周辺）の都市基盤整備が進んでいる。鉄道高架事業が完了している。
岡谷市の弱み	中心市街地の空洞化と並行して周辺市街地の無秩序な宅地化が進んでいる。

### 5 今後の外部環境の変化

\*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	国において、地域の特性に応じて工夫を凝らした地区レベルのまちづくりルール策定のためのガイドブックが示される等、課題対応型のまちづくり施策が展開され始めている。
不利に働くもの	震災復興、防災・減災対策等への対応も重なり、国及び地方の財政状況が悪化している。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	岡谷駅前整備事業や湊湖畔土地利用構想策定事業においては、具体的な事業展開を検討する。 岡谷駅周辺地区や湖畔若宮地区においては、具体的に事業が進み始めており、継続して実施していく。
見直しを行う分野	都市整備事業の土地区画整理事業については、地価の下落や経済情勢等から、事業主体となる権利者の意向が未定であり、保留地処分や採算性などを勘案すると事業成立には困難な要因が多く、当面は情報収集を継続しながら事業実施に備えていく。

●27年度の優先度

\* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け  
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費		人件費		妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度			
1		内部	なし	岡谷駅前整備事業	—	—	—	20	2,400	—	—	継続して実施	B：現状維持
							—	20	2,400				
							—	20	2,400				
							—	20	2,400				
2		内部	なし	岡谷駅周辺地区活性化検討事業	—	—	—	—	—	—	—	継続して実施	B：現状維持
							—	50	800				
							—	50	800				
							—	50	800				
3		建設	あり	湖畔若宮地区整備事業	進捗率	%	—	—	—	—	—	継続して実施	B：現状維持
							0.0	3,001	3,200				
							0.0	9,419	10,400				
							0.0	17,129	10,400				
4		建設	なし	湊湖畔土地利用構想策定事業	進捗率	%	0.0	0	—	—	—	継続して実施	B：現状維持
							0.0	0	800				
							0.0	0	800				
							0.0	0	800				
5		一般	なし	都市整備事業	説明会等参加者数	人	28	48	400	—	—	継続して実施	B：現状維持
							10	22	800				
							8	28	800				
							30	51	800				
6													
7													
8													
9													
10													